


この教室では、気象庁マスコットキャラクターのはれるん  が、気象について教えてくれます。

8時間目は「春のあらし」について学びましょう。

はれるんのお天気教室

日本では2月の初旬がおおむね寒さのピークとなり、その後は次第に春が近づいてくる時期に当たります。この時期、日本付近では冬と春がせめぎ合います。冬の冷たい空気と春の暖かい空気がまざりあい、低気圧が急速に発達して台風並みに強まりあらしに見舞われることがあります。今回はこの春のあらしについてお話します。



8時間目

春のあらし



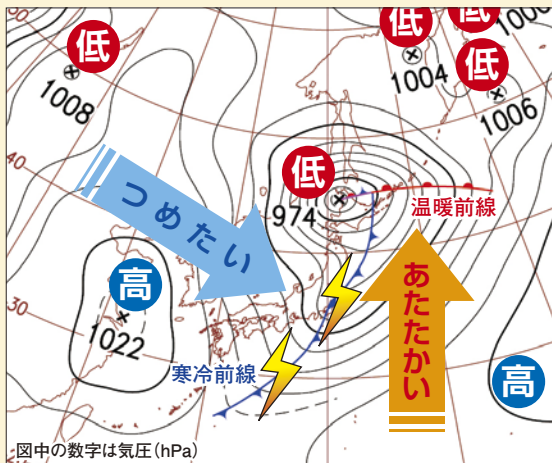
図は春のあらしが吹く典型的な天気図です。低気圧が急速に発達し、等圧線が混んでいる状態は、強風が吹き荒れることを示しています。

低気圧から延びる寒冷前線が通過するまでは、南よりの暖かい強風が吹き込んで全国的に気温が上がります。積雪のある地方ではなだれが発生しやすくなります。2月の立春から3月の春分のあいだに、このような気象条件のもとで最初に吹いた南風が「春一番」となります。

寒冷前線が通過する際には、局地的に雷を伴って大雨やひょうが降るほか、竜巻などの突風が発生することもあります。

また、寒冷前線が通過したあとは一転、数日にわたって北よりの冷たい季節風が吹き、冬に逆戻りしたような天候になります。

このような大荒れの天候が予想される場合、気象庁では気象情報を発表しますのでご注意ください。



2010年3月21日9時の天気図

20日は汗ばむ陽気でしたが、21日には北海道や関東で暴風となりました。千葉市中央区で最大瞬間風速38.1m/s、神奈川県箱根町箱根では1時間に67mmの非常に激しい雨を観測しました。

はれるんプロフィール

名前: はれるん (気象庁マスコットキャラクター)

種別: 地球の自然 (太陽、雲、雨)

所属: 気象庁総務部総務課広報室

趣味: 天気予報

仕事: 国民の気象庁に対する親近感を深めること。

その他情報: 特技は、雲の襟巻きを回転させ、空を飛ぶこと。

(地球上に災害が発生しないよう監視するため)

各地のお天気フェア、気象庁ホームページ、気象庁1階にある「気象科学館」で会うことができます。

